様式Ⅱ－８　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 （イノベーション創出強化研究推進事業）

（H30年度以降採択課題用）

平成　　年度　試験研究計画別　各種会議報告票

試験研究計画名：

研究統括者名　：

会議名　　　　：

会議開催日　　：

会議開催場所　：

外部アドバイザー名：

報告項目１：会議の概要・主要な論点とその検討結果

報告項目２：会議等における外部アドバイザーからの指導・助言事項

報告項目３：その他外部アドバイザーの目から見た今後の研究推進上の要検討事項・留意事項

提出先（メール提出）

|  |  |
| --- | --- |
| イノベーション創出課  （研究リーダー） | Inobe-t@ml.affrc.go.jp |

平成○○年度　試験研究計画別　各種会議報告票（記入例）

試験研究計画名：寒冷地畑作における・・・・・・

研究統括者名：○○　○○

　会議名：平成〇〇年度「寒冷地・・・・」試験成績・設計検討会議

　会議開催日：平成○○年〇月〇日

　会議開催場所：○○研究所中会議室

外部アドバイザー名：○○　○○

報告項目１：会議の概要・主要な論点とその検討結果

①　○○県○○市○○農場現地試験圃場において○○技術に関する処理別の作柄状況を視察した。7月の降雨にもかかわらず処理区の生育は・・・・

②　○○農場経営主からは、○○処理の方法として○○に変更をするのが良いのではないかとの提案があり、担当者間での議論の後、次年度の処理は・・・・と研究統括者が総括した。

③　試作機の○○部については・・・・との意見があり、次年度に向け改良に取りかかることとなった。

④・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

報告項目２：会議等における外部アドバイザーからの指導・助言事項

①　試作機の○○部の改良については、△△を用いるのが適当との助言を行った結果、研究統括者において××との優位性を精査し、改良に取り組むこととなった。

②・・・・・・・・・・

報告項目３：その他外部アドバイザーの目から見た今後の研究推進上の要検討事項・留意事項

①　次年度実施する研究項目１-③)に関して、構成員間での共通認識をはかるよう今後の検討会等での協議を進める必要がある。

②・・・・・・・・・・・・・・

提出先（メール提出）

|  |  |
| --- | --- |
| イノベーション創出課  （研究リーダー） | Inobe-t@ml.affrc.go.jp |